

平成30年度第3回平塚市博物館協議会会議録

■開催日時 平成31年3月22日（金）10時～11時30分

■開催場所 平塚市博物館 特別研究室

■会議出席者（敬称略）

会 長 椿田有希子

副会長 平井 晃

委 員 植田育男、安室 知、横関秀美

事務局 高橋社会教育部長、澤村館長、栗山館長代理（学芸担当長）、杉山館長代理（管理担当長）

■傍聴者 なし

■会議の概要

1 開 会

2 議 事

（1）報告事項等について

- ・博物館再開後の利用状況
- ・平成30年度秋期特別展
- ・市民とつくる博物館

（2）平成31年度予定について

- ・平成31年度当初予算について
- ・平成31年度事業計画について

（3）その他

- ・事務連絡等

※ 閉会后春期特別展の展示解説。

■議事および質疑

議題（1）報告事項等について

◆博物館再開後の利用状況について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委 員 再開後の人数の前年度の対比としては40～60%（2000人）アップである。この一番の理由としては何と考えているのか

事務局 見た感じでは、平塚の野鳥展にかなり大勢の方が来られていたという印象があった。

それ以外にも入館者がかなり長期にわたって伸びているということでそのほかの展示等でも注目を集めている。夏から秋にかけてずっと休館していた影響で、日常的に博物館を気にされている方もいらっしゃるのかなという個人的な印象を持った。

事務局 1階受付周辺にいる感覚としては、学芸担当長が申し上げたように企画展にかなり人気があった。当たる企画であったといえる。

それから、プラタモリ、曾屋高校の展示などを目的にいらっしゃる方もかなりいたので、これらの企画も成功だったのではと考えている。

それと、休館の間に来られなかった学校の団体さんが、再開したことによって、この時期にある程度集中しておいでになったことも挙げられる。特に2月の再開直後は博物館を大変心配してくださっていた市民の方がかなりいらっやって、「ご祝儀的な来館」という形のものも少なくない。そういったものの合成値としてこのグラフに表れているのではないかと考えている。

委員 市役所の展示会場で展示したワーキンググループの活動の展示について、報告書の中の写真の雰囲気や活動の内容を報告していたようだが、活動の内容が全部きれいに紹介してあってよかったと感じた。

一方で、この写真の中には人が写っていないが、これは人がいないときの写真なのか。結構人も何人かいたように感じたから疑問に思った。

委員 ミニ文化祭について、前から曾屋高校の日本史研究部の展示をなさっていて、すごく興味があるのだが、こういう形で高校生が自分たちで調べたことを社会に還元する機会をこういう場所でスペースを設けてやらせていただくというのはすごくいいことだと思う。

恐らく、曾屋高校以外にも日本史研究部のような部や同好会というのはあると思うし、このよう展示のスペースを与えていただくというのは他にもやりたいというところが出てくるのではないと思う。今よりも範囲を広げてやるつもりはあるのか教えてほしい。

事務局 2階の情報コーナーは、学校を舞台に活動している事業を含めたグループでいつでもご利用できるようにという形でご用意はしている。館のその他の展示で日程との兼ね合いということにはなる。ただあまり知られていないという部分があるので、もしよろしければ、どこか心当たりの学校等があれば、ご紹介いただければと思う。

展示の内容については、一応は何でもありということではなく、この博物館の地域の歴史や自然に関してというテーマに沿った形で何かそれぞれの学校でなされたことがあればということになっている。今後ともそのようにして活用していく考えである。

事務局 ミニ文化祭はタイトルだけではなくシステムとして用意しており、利用のご案内はホームページに載せている。現場のこれまでの感触としては、クラブの顧問の先生によってかなり左右されてしまうので、たとえば顧問の先生が異動になるとどうなってしまいかかわからない。その点から推測して、まず学校の先生に知って頂く必要があると思う。

事務局 学校の先生方にとっては、外で展示するというのは、生徒さんたちのモチベーションにもなるでしょうし、それなりに力を使わなければならないという事情もある。

委員 先生の意欲や状況次第ということですね。

委員 平塚の高校で日本史研究部はどれくらいあるのか。

事務局 私が知っている江南高校はかつて交流があったが、最近の消息は聞かないのでわからない。

委員 我々の一世代前の民俗学の先生に聞くと基盤として郷土研究部というのが中学校・高校にあって、そういうところで学生が育って地域研究のリーダーになっていくとか、またその顧問の先生が有名な民俗の先生になったりとか。私が聞いた先生は三浦半島で有名な民俗の先生の辻善弥先生の話なんかを聞いていると、元々そのような郷土研究部を母体として地域の研究者が育っているし、その研究者が有名な先生になっていて、そういった裾野が広まっていたんですけど、今どんどん狭まっている印象があって、できればこういう郷土研究の博物館を核にして今度は反対に教育施設に裾野を広げていくという企画ができればと思うのですが。ただ学校側にそういった部活動がなくなってしまったというのが残念だなあという気がする。

委員 かえって私立のほうがそういう部があったりしますね。

事務局 学校のクラブ活動、課外活動につきましては今、働き方改革の中でも社会的に取りざたされるテーマになっているので、「こんな効果がある」と私たちから声をかけにくい状況。その改革次第で私たちの対応を考えなくてはならない。

◆平成30年度秋期特別展について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委員 私も二回ほど見せていただいたが、非常に楽しく拝見した。特に資料を無料で配布するというのに驚いた。この中にアンケートが入っていたので、無料でもらうのは申し訳ない、せめてアンケートぐらいはという気持ちをもって書かせてもらった。展示についても見せてもらった中でも非常に素晴らしいと思った。今までの展示の仕方と違って、非常にわかりやすくというか、努力が本当によくわかる展示であった。

ただ、アンケートを読むと、ある程度分かる方にはいいが、あまり知識が少ない方にとって

は、振り仮名、ルビをつけることが大事なのかなと感じた。こんなことについてはみんなわかるからルビ振る必要ないだろうと私なんかは思うのですが、あったほうがいいのかと感じた。

事務局 今回の報告でも申し上げたように、展示の内容が物語、ストーリー性が多少前面に出ているということでたくさんの資料を項目別に見るということではなくて、全体の中で物語を楽しんでもらうというような構成になっていた。そのような意味で、ストーリーがないと全体の意味が捉えにくいという方もいた。

導線も同様で、特別展示室のエリアだけをオープンしたので、普段特別展を見るときと入り方が違う方向から入っているのでちょっと導線が交錯してしまったところがあった。その辺は難しくなってしまった。

ルビに関しては常に問題になっている。どこまでルビを振るのか、振らないのか。専門用語などはルビを振ったほうがいいのかは勿論だが、一つ一つに正確にルビを振っていく作業というのも、時間に余裕があれば出来るのだが。ルビがあった方がいいというのはおっしゃる通りだと思う。特に今回は見慣れない単語、地形的な用語が多かったので、歴史的な用語に詳しくても、地形的な用語が分からないなどの意見もあった。特に神奈川県全体を対象にしているので、地名などでも読みづらいという意見や、お子さんはルビがないと全然わからなかったという意見もあった。今後ともできるだけルビは専門用語を中心にして振っていきたいという風には考えている。

委員 大塚山三角縁の神獣鏡あたりは複製品ではなく実物が見たかったなあという風に私は思っていて、東博あたりから借りてやるということはどうなのか。

事務局 かなり東博のほうでも、ここ近年地域のほうで利用してもらうということを促進する方向に変わってきていますので、場合によっては借りてくるといった話もかつてほど難しくないのでかなと感じている。ただ貸し出す場合に、貸し出す先の施設の状況というのはチェックされるので少なくとも今回モルタルが落ちて休館中ですので難しいと思う。あと、空調の関係や、耐震強度などもチェックされるとちょっと壁があるかもしれない。

委員 もし出来ましたら近頃いろいろあるでしょうけど、どうせだったら子ども達には実物をという事で。

事務局 十何年前に一度、東博から借用して展示をした件があったので、博物館の格としては大丈夫なんだろうけれど、先ほども申したように施設や設備をそれに向けて、それに耐えうるようにきちんと整備していきたいと考えている。

委員 よろしくどうぞ。

委員 この方面素人なのですが、図録を見ると専門的なことがいっぱい学術的にも凄いのだろうと思うのですが、今回はこれをされてたけれど、多分いっぱいあって次にこれやろうとかの計画ってあるのですか。なんかすごい大きな流れの中でやっていたけれど、次にこれをやろうとかの方向性があったりするんですか。

事務局 この神奈川の遺跡シリーズについては神奈川県の方ではこれは毎年やっているが、毎年4月、5月の異動で担当になった担当者が4月1日からスタートして決めるということなので、年度年度のつながりはない。毎年どこコラボレーションするかというのは決まっていて、その地域との関連があるもので担当者が得意とする分野、そのあたりで決まってくるということです。4月1日からスタートするものですから、我々が秋期特別展に位置づけようとすると、やはり10月、11月、12月あたりの日程が事業として欲しいですけども、10月だと神奈川県の方が準備が間に合わないということで、第二弾という位置づけとして、前半に当館の収蔵資料展を用意する二部構成で考えていた。

委員 流れてしまった第一部のほうは今後なさるご予定はないのか。

事務局 具体的には今のところはないけれども、いずれまた機会があれば丘陵の上、今回低地のほうでしたから、今度丘陵の上を集めると、テーマとしては今後使えるテーマなのでやってみたいなと思う。

委員 せっかくお調べになったと思うのもったいないなと。

事務局 平塚市内では向原遺跡などの大規模な丘陵上の遺跡を神奈川県教育委員会が発掘調査して、その資料を神奈川県が持っているので、この機会に県教育委員会が所蔵している資料をどっどと持ってくる目論見だった。またいずれ機会を見てできればと思う。

◆市民とつくる博物館について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委員 この展示等については、市民の皆さんの反応などはあったのか。確定申告の時期だったので私も見たが、その見た中で、このグループに入りたいんだけど、参加したいんだけどというような話はあったのか。

事務局 アンケートも置いていなかったもので、直接の反応というのは把握してない。今のところ、ここ最近入会の希望がなかった展示解説ボランティアに1人問い合わせをいただいているという話は聞いた。裏打ちの会にも新しい方が来られたと聞いている。直接の感触は少ないが、周知されたという気配はある。

事務局 こういった周知の知らせというのは、100人ご覧になってその内の1人が関心を持つかど

うかだと思う。それで関心を持ってアクションを起こすかどうかは分からない。この展示で見込まれる効果はそのぐらいだと思うので、これに限らず1つの方法としてあちこちに出して色々な場所で目にして頂くという努力が我々に必要なのだろうと思う。なので、これを見てきましたという方があるかどうかは調べていないが、それなりの効果はあったらと思う。

委員 私もこれ凄くいいなと思ったのは、たまたま休館のため博物館文化祭の代わりに多目的スペースを借りてやったという部分。丁度確定申告の時期で人が多く出入りするということを考えると、博物館に直接来ることがない人も市役所には何らかの理由で来るので、市役所に定期的にこうした多目的スペースを使った出張展示をできたら本当にいいなと思った。その効果のほどは後ほど検証の必要があるが、私が以前勤めていた博物館だと飛行場に展示したこともあった。羽田空港の一角でほとんど効果がなかったようだが、やっぱり博物館内部に閉じこもるより、こうした博物館外部に出張展示する方が、どんなにいい企画をやっているのかが分かるんじゃないかと思う。出来れば学芸員の方は大変かもしれないけど毎年こういった出張展示をやられて、パネルであれば、外光が当たっても大きな影響はないでしょうし、できれば外光が直接当たらない所にも何か物を展示できたら、覗きケースのようなものが展示出来たら、博物館本館に行けばもっといい展示が見れるんだと思ってもらえるので、恐らくそういう宣伝効果がありあるんじゃないかという気がした。

委員 多分これをつくるのは大変だろうと思うので、こういった内容のものは文化祭で一応展示してるので、その終わった展示物や以前に使った掲示などをそのまま展示してあんまり手間暇かけずにやるというか。前に図書館の前でやったこともあったようだが、何かそういった工夫をしながら手間暇かけないでもせつかく作った掲示が人目にたくさん見てもらえると効果は結構あって、平塚でこういう展示、ワーキンググループ活動は結構いい活動だと思うのでそれをいろんな人に知ってもらうには非常にいい機会なので、手間はかけずに、会員の人も手伝ってくれると思うので動員もしながらそのまま掲示したらいい。手間暇かけないで効果を上げるというのもいいんじゃないかと思う。これを毎年やれということになるとそれはそれで多分大変だと思う。

委員 一度ポスターをデータ化すれば、数値をちょっとずつ更新するだけで。

委員 いやこれは単なる紹介だけではなくて、そのグループが本年やった活動内容とかの紹介とかも入ってるものですから多分少しずつ変わってきているものだと思う。

委員 あとそれは、ワーキンググループの方々の仕事ですよ。

- 委員 ええ。ワーキンググループって毎年文化祭のほうで展示してるので。
- 委員 その方々はそれを作るのが年間の一つの目標みたいなものなのでそれを流用するのがそんなに大変なのか。場所をきちんと確保するほうが大変かなと。
- 事務局 今回はここの市役所の多目的スペースが比較的空いていて、頼めば利用できるようになってますよという状況を社会教育部長から聞いて、臨時休館になってしまっているの、開ける頃にやってみようということで急に発展していった話だった。ワーキンググループの皆さんにそれをお諮りするには期間的にも全部にというわけにいかなかったし、博物館文化祭が今年はやらないという状況になっていましたから、また成果物も今年はないということになっていましたから、急遽学芸員たちで作ったというような次第です。
- 今後またこういう機会があるといいねという風に言葉をいただいたので、その際にはワーキンググループの皆さんにも相談したいと思う。その時は皆さんにもご協力をいただければ。
- 委員 大丈夫じゃないかと。
- 委員 可能ならですが、こちらの本体の展示を企画展・特別展に合わせて1点だけ展示する。もしくは数点だけ、この多目的スペースで企画展のものを一週間とかで展示しておいて、博物館に呼び込むような出張展示、呼び水になるような展示もできたらいいのではないかなと思う。
- 可能ならですがこれができたら宣伝効果はかなりあると思う。
- 事務局 方法として可能性がかなりあると思う。ただ今度、セキュリティとかを考えなくてはならないので、その辺を踏まえて検討していきたいと思う。

議題（2）平成31年度予定について

◆平成31年度当初予算について、事務局杉山管理担当長が説明資料により説明。

- 委員 大卒の社会教育費の中で、博物館に関してだけ前年比プラスになっているんですね。これは何が功を奏したんですか。
- 事務局 その辺に関しては右下の10ページに字が小さいが細かいことを記載している。上から2項目目、博物館教育普及活動推進事業、この中で大きく大幅に増えているのが賃借料で「プラネタリウム設備、OA機器リース料等」と、それとその下の、備品購入で「プラネタリウム投影機器買取」このふたつが非常に大きくのびているところで、平成31年度（来年度中盤）で現行のプラネタリウム投影機器のリースが終了するにあたって、機器を変更しようと計画している。現行のプラネタリウム投影機器のリースというのは、再リースを重ねているので、リース料が安くなっている。その機器の一部更新をするためにリース料が上がっている。そ

の分が大きく影響している。

委員 機器が変わるということは投影内容がよくなるのか質が良くなったりするのか。

事務局 全体の投影機器の中で、光学的に映し出す機械というのは長く使えるが、デジタルシステムによって映し出すものや音響機器というものがあり、使われているコンピューターの寿命が数年で怪しくなる。また、ソフトウェア、OSなどのサポートも切れてくるということでそれらを更新していかなければならない。なので、投影の番組の内容には直接大きく影響しない。

事務局 プラネタリウム投影機は一括でリースを開始したが、そのうちのコンピューターや音響機器、大型ビデオプロジェクターといったものは寿命が短いので、もう寿命が来てしまった。一度リースが終わって再リースになっているので、かなり割安のリースになっていたが、機器の寿命がどうしようもないということで、その部分は新しいものに入れ替える。だからまたリース料が上がるということになります。

電球（LED）で星を映している装置に関しては、まだ寿命が来ていないということでそこだけ切りはなしてリース料を払うよりも、買い取ってしまったほうが安くあがることが分かったので一括で買ってしまおうということにした。そこで今年度、教育普及活動推進事業の予算が上がっている。

老朽化した機器に関しては、新しいものに入れ替わる部分に関しては、プロジェクターの鮮やかさは良いものになると思う。コンピューター技術に関しては精度が上がっているので、よりシミュレーション結果が精細に表示できるようになると考えている。

委員 2点ほどあるのですが、予算関係の中で、去年建物関係で天井が崩落したが、その予防、維持費にかける予算というのは組み込まれていないのか。入れてるのかもしれないけれどそのところは大丈夫なのか。入っていないまでも今後長期的に取り組むこと、建物を継続的に維持するということを考えなくていいのか。

今は単年度予算となっているが、あるのかもしれないけれど、予算的な内容となると中期予算とかそういうのがあって、今年はその大きな中で、前年と同じ額でやっていく内容とともに、その中期的な内容から、取り組みを考えていくということはないのか。あったら教えてほしい。

事務局 昨年天井の剥落の関係で階段のほうを工事したが、建築基準法の12条点検ということで専門業者・建築士の方に全体の調査をしてもらっている状況であり、これは毎年行っている。その中でもそれ以外の指摘は出ていない状況である。機器等は老朽化しているので今回空調機器の自動制御機器などは、繰り越して31年度工事予定になっている。それ以外の部分は、

専門家ではないので私も詳しいことはわかりかねる部分もあるので、その専門家の指導指摘を参考にしているという状況である。

単年度の中では今の話なのだが中期長期という話に関しては、今、市のほうで長寿命化における計画の個別施設計画作成という方向で動いていて、その議論の中で平塚市における施設がどこも老朽化している状況からその中で優先順位を決めて、どこを優先してやっていくのかというのを今後話し合われると思う。

委員 とすると博物館は博物館として、中長期的な計画・方針はある程度持っているということで、それを反映した単年度予算ということで考えていいですか。

事務局 大規模な予算ということになると、今説明にあったように、まず市の計画に乗せて、それを一つの目安にしながらもう少し細部を詰めていく、というような長期の計画になっているといえます。

それ以外の通常の維持管理としては、まず安全に関しては建築基準法関係の点検を行って問題が見つかった時に対応していく。また、設備的な部分の老朽化については、どのくらいのペースで更新が必要とか、交換が必要とか、それらについては把握しておいて、この年度にはこれをやっていく必要がある。そういう認識で進めていくといったイメージで考えている。新たに問題を見つけて、という形では計画を立てていない。

委員 難しいのかもしれないけれど、建物にある程度ヒビが入っているのが見られるからその耐震性とかの話はもうそろそろ何年で出てきそうだとかそういうのは単年度予算では全然出てこないのか。

委員 それについては市全体でやることであって博物館がやることとは違うということだと思う。中のものについては博物館がやるということだと理解しています。

事務局 追加としましては、今、委員から壁のヒビをご指摘いただいているが、それも12条点検の中に出てくる内容であるので、このヒビはある程度手を入れないといけないという話になってから対応することになる。一番ヒビが目立っていたのが階段の壁ですけれども、今回天井剥落と同時にそちらも整備したので、現状わかっているところに関しては安心していただけるかと思う。

◆平成31年度の事業計画等について、事務局栗山学芸担当長が説明資料により説明。

委員 宮沢賢治と平塚はどのような関わりなのか

事務局 故郷の花巻市が平塚市と友好都市であることが根底にある。プラネタリウムでも銀河鉄道の夜とか宮沢賢治作品は非常に人気がある。宮沢賢治作品の中でも天体の話があったり、岩石や鉱物の話題が多数あったりする。平塚市博物館としては非常に親しみある人物である。と
いうのを踏まえて来年度の秋、特別展を開催しようという流れになった。友好都市なので本
庁の他の課との連携も図れればと思っている。

委 員 図書館などの宮沢賢治の本とコラボするなどは考えているのか。

事務局 毎年の文化ゾーンの三館コラボとは時期がずれるが、図書館と早めに打ち合わせを行えば用
意してもらえる可能性はあると思われる。声をかけてみたい。

委 員 文学作品なので、この機会に読む人が増えれば、図書館としても良いのではないだろうか。

委 員 燻蒸の事業予算が見当たらないがどのようになっているのか。

事務局 細かく燻蒸の言葉は出てこないが委託料の中に入っている。

委 員 燻蒸はいくらぐらいかかるものなのか。

事務局 入札があるので具体的な金額は言うことができない。

委 員 平塚学入門というのは初めてですか。

事務局 このような特別展としてやるのは初めてです。平塚学講座というのは7年ほどやってきた。

議題（3）その他

◆次回の日程は5月24日ということとした。

以 上

配 布 資 料

平成30年度 第3回平塚市博物館協議会 次第

平成31年3月22日（金）午前10時
平塚市博物館特別研究室

1 開会

2 議事

（1）報告事項等について

- ・博物館再開後の利用状況
- ・平成30年度秋期特別展
- ・市民とつくる博物館

（2）平成31年度予定について

- ・平成31年度当初予算について
- ・平成31年度事業計画について

（3）その他

- ・事務連絡等

3 閉会

※会議終了後、春期特別展の展示を御覧いただきます。

以 上

博物館再開後の状況について

■休館中の事業

- ・特別展

「かながわの遺跡展 潮風と砂の考古学」 12月1日(土)～1月6日(日)

■再開館後の事業

- ・企画展

「平塚の野鳥展」 2月1日(金)～2月27日(水)

- ・寄贈品コーナー

「湘南の地質 2月1日(金)～3月3日(日)

- ブラタモリでいえなかったこと - 【地質】

「空の色と光の科学」【天文】 3月9日(土)～4月7日(日)

- ・情報コーナー

ミニ文化祭「高校生が一から調べた秦野の歴史 2月1日(金)～3月23日(土)

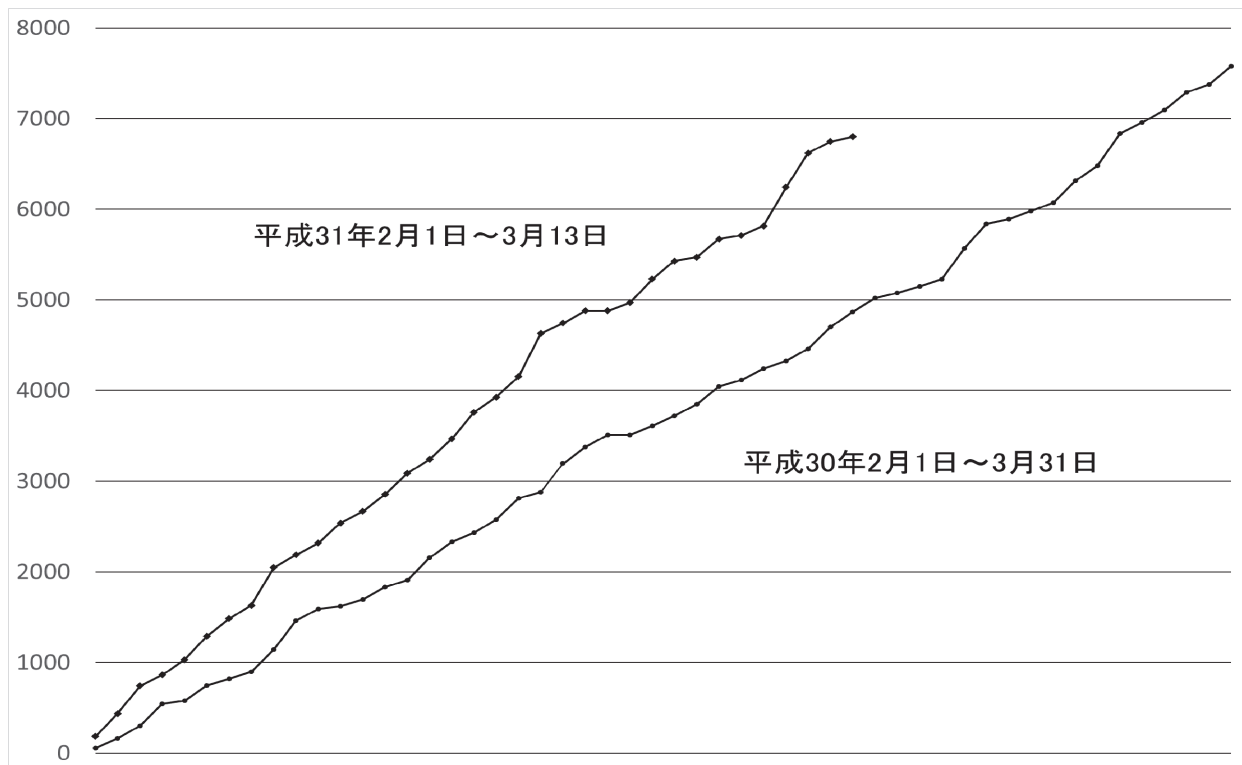
～草山貞胤・湘南馬車鉄道・御旗奉行～

曾屋高校日本史研究部

- ・市役所本庁 1階 多目的スペース 2

「市民とつくる博物館」 2月8日(金)・12日(火)～14日(木)

■再開館後の入館者数



平塚市博物館 平成30年度秋期特別展

かながわの遺跡展「潮風と砂の考古学」 開催報告

- 1 会期 : 平成30年12月1日(土)～平成31年1月6日(日)
 2 時間 : 9時～17時
 3 会場 : 平塚市博物館特別展示室
 4 主旨 : 「かながわの遺跡展」は毎年神奈川県教育委員会が県下の市町村との共催で開催する展示会で、テーマを設定の上県内の主だった資料を集約して展示・公開するもの。

平成30年度は平塚市博物館が会場となり、「潮風と砂の考古学」のタイトルで開催。平塚市域の特性の一つである砂州・砂丘上の低地遺跡から出土した資料を集めて、人々と海のかかわりの歴史を紹介。

内装補修工事施工中であり、特別展示室のみ開館し特別展事業の一つとして開催。

5 展示構成

◇ 展示構成

I : 砂の遺跡のあれ・これ・それ II : 湘南砂丘に生きる！ III : 海の港・川の港
 IV : 港都・鎌倉 V : むすんで ひらいて

6 関連行事

◇ 記念講演会

会場：講堂 参加自由

「相模湾を眺めていた弥生時代の人々」

講師 杉山浩平（東京大学 総合文化研究所 特任研究員）

日時 12月8日(土) 14:00～16:00

参加者 58名

◇ 特別展展示解説（担当：久我谷溪太（神奈川県教育委員会）） 参加自由

第1回 12月8日(土)

参加者 29名

第2回 12月16日(土)

参加者 19名

7 印刷物（印刷：神奈川県教育委員会）

図録 A4判 28頁 カラー 無料配布

8 展示期間中入館者数

	大人	子ども	計	日数	子どもの割合	1日平均
合計	1,451	156	1,607	28	9.7%	57.4人

9 アンケート結果

有効回答数 448枚

回答者の住所 平塚市内 193名、平塚市外神奈川県内 192名、神奈川県外 42名

回答者性別 男 323名、女 111名

回答者年齢	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
	21名	20名	29名	57名	74名	126名	90名	24名

情報の入手先	ポスタ チラシ	県の たより	平塚 刊行物	知人 から	平博 HP	県博 HP	埋文 HP	他 HP	ブログ	F. Book	その他
	130	29	69	36	76	12	15	5	6	0	98

かながわの遺 跡展観覧経験	今回初めて	2回	3回	4回
	277 63.8%	59 13.6%	27 6.2%	71 16.4%

展示テーマ	とても おもしろかった	おもしろかった	どちらかという つまらなかった	つまらなかった
	152 35.7%	256 60.1%	17 4.0%	1 0.2%

展示の見易さ	とても見易かった	見易かった	やや見づらかった	見づらかった
	118 27.3%	257 59.5%	55 12.7%	2 0.5%

パネルの解説	とても わかりやすかった	わかりやすかった	やや難しかった	難しかった
	116 27.2%	264 62.0%	37 8.7%	9 2.1%

総合的にみて	とても満足した	満足した	やや 物足りなかった	物足りなかった
	124 29.2%	241 56.8%	58 13.7%	1 0.2%

自由意見

全体が解るパネル（時代を通した）があると良かったのかなと思います。

久しぶりに博物館に伺いました。神奈川県地形や遺跡の多様な面が知れてとても面白かったです。学芸員の方から詳しいお話が伺いたいと思いました。次回の催しを楽しみにいたしております。

順路・スタート位置をしっかりと教えた方がよい

海を通じて行われた人の交流を考古学の視点から知ることができて勉強になりました。海岸の形成の説明もわかりやすかったです。ただ欲を言えば、わかりにくい進路案内の改善と、大きい地図を用いた広い視点からの開設をした方がよいと思いました。子供が見に行きたい（興味があって）今回初めて来ました。子供も楽しめたようですが、パネルの漢字に読み仮名があるともっと楽しめたかと思います。

各テーマのパネルに何時代のこともまたいつ頃のことか記入してあれば、もっと理解しやすいと思います。今までにないテーマで興味深かった（地理と歴史の関係）

微地形と人々の生活の関係が理解できた

埋蔵文化財は近くで発掘しており、どこでどんな形で展示発表されているか知らなかったのが県全体の海岸遺跡、海岸線の出来方、堆移、砂丘の変遷もふまえて、プラタモリ以上にわかりました。

かながわの古代の様子がよくわかり、各遺跡を巡っています。昔と変わらぬ景色、変わった現状、時代旅行のようで楽しいです。いつもたくさん情報をくださり、ありがとうございます。

よく知っていると思っていた自分の住んでいるところも過去にさかのぼると知らないことが多く、こんなことになっていたのかと驚きました。風で飛んでほう砂がこんなにいろいろなことになっていたとは面白いです。

パンフレットがとてもよかった。写メしなくてもよいのでゆっくり見ることができた。解説も楽しかったです。目的意図など思いが伝わってきました。縄文時代だと地形とのかかわりはよく理解しているのですが、これからは弥生・古代へと自然地形のかかわりにも気を付けて色々なところで展示を見ようと思います。2点のはにわだけでもいろいろと興味深いものがあります。機会がありましたら八戸市の是川遺跡や中世の城（←おすすめです。世界1です）・根城にもおいで下さい。

写真撮影したいものがあった。

自由参加でありがたかった。程よい参加人数・程よい解説時間の長さ

ポスターの絵柄をはじめとして展示者の自己満足。ルビが少なく平易を心掛けないパネルはNG。展示意図をはかりかねます。砂浜の減少は目に見えて明らかなのに対策がなされていないのかとても気がかりです。美しい浜辺・砂丘がなくなるのはどうでもよいこととは思いません。

ユニークで面白かった。時に「死の世界」としての浜辺に関心を持た（山＝霊界というイメージはあったが海にはなかったため）再現やジオラマ、音声資料があったらよかった。似たテーマの展示があったらぜひ見たい。

改めて弥生時代のへんりんを思わされた

土器がしっかりつながれて立派だった。馬入川の土砂どうにかしないといけないと思った。

時代の移り変わりが分かり、おもしろかったです。

キャプションが足りなかった、特に考古学を歴史考古も歴史学的解説とジョイントしてほしい。洒落たタイトルだった

参考図書の紹介があると今後の楽しみになると思います。

地名などの漢字の読み方が不明の物が有り、ふりがなをふってほしかったと思います。

展示解説がわかりやすく、質問にもいねいに答えていただきました。今回のような新たな切り口での展示、解説をお願いします。

資料（印刷物）を家でゆっくり読みます。

確かに弥生時代というと稲作、鉄だったなどと思い開眼した思い。〇〇とか大きな土器の存在。想像以上に弥生時代は激変の時代だったのだなと興味がわいた。今回も来てよかった。面白い話がいっぱいありました。

日本国内の先史～古代～中世までの考古・美術をかつて専攻しました。＜人類史の移動と技術の伝達がテーマでリサーチしています。例えば、＜鉄＞＜銅＞について、近年海老名での鉄〇の発見等 相模川北～南のダイナミックな人々の移動があったと思われる。海～川＜大（大きな移動）、小（運搬）＞等。点から線・面への表現を〇みます。

中世の遺跡か…人物も

期間中もう一度訪れる予定です。

県内の地図から場所が分かれば！

博物館の早期復活を願っています。

神奈川の遺跡がよく分かった。昔の人の生活が参考になった

今後、展示会等があったら参加したいと思うので連絡してほしい。

導線が少しややこしい

木材の遺跡などは素材も分かると面白いと思った

内容をもっと広く知らせるといいと思います。美術館と一緒に見るようにすると面白いのでは。

今回のテーマは今迄見たことがなく非常に興味がわいた。

パネル展示に従ってわかりやすく説明していただきありがとうございます。私は茅ヶ崎に住んでいまして昨日下寺尾官がい遺跡を訪ねて小出川の川津の跡を探したのですが見つかることができませんでした。本日の展示の中にパネルがあり、参考になりました。うれしかったです。

子供にもわかる展示があるといいです。

前提となる知識に欠けていると実感しました。

地図などの地名が分かりませんのでどこなのか？地図の説明も分かりませんでした。残念です。平塚生まれの71歳ですが。（ずっと平塚です）

読むことのできない文字と理解できないことがありました。

汐風と砂浜には古墳というより、文化的な人々の生きざまも必要だと思った

いろいろなむかしのじだいのものがおいてあったのでびっくりしたし、見れてとてもうれしかったです！！

砂嘴のことをもっと展示できればよかった、歴史が分かる。パンフレットがすごい良いと思う。

古の地形を無視して開発され、弱点を覆い隠された時に地震などでそれが被害を与えることになる。それを改めて今回の展示で

知った次第です。

平塚や藤沢の地形など土地勘があまりないので少し理解するのに時間がかかったがおもしろかった。

これだけ〇広く湘南地域全体の海、川、関連する山〇の〇広い地域を集めた展示は初めてです。終わるのは大変もったいない〇〇です。常設すべき（事情が許せば）

古代の物を見て感心しました。子供は3歳ですが、成長した勉強になると思いました。パンフレットは勉強になります。

すごいいせきでした。これからもがんばってください。

今後もこのような展示会を開いてください。

平塚市だけでなく周辺市の遺跡を関連付けていたのが良かった

展示構成の意図が分かりにくかった。順路が分かりにくかった。

6歳の息子でも自分の住まいの近くからこのような遺跡がでたんだと感動することができました。ありがとうございました。

タイトルから展示の狙いが今ひとつわからず、想像したものとは違う内容名だった。関心を持ってもらうためにはあおもしろいタイトルだと思うし、内容は内容でよかったが、もう少し間をつなぐ工夫があると良かった。

運河・川と川をつなぐ川・横須賀市遺跡が展示され良かった。

〇代別はわかりやすい。江の島の縄文年期の遺跡の展示がないのは残念。江の島頂上で水がない場所でなぜどのように生活したか、1万年の遺物を消しているのは惜しい

常設館の一部を利用しているので順序を示す工夫が欲しかった。大きなパネルにはひらがなを書かないと小学校低学年には分かり難い。トイレが和式はダメ。外国人も訪れるように2020年に向けて努力すべき

小学3年生の子供と一緒に見学しました。縄文土器がきれいに再現されていてとても良い展示でした。

真土の大塚山古代やや理解できた。

博物館自体がやっておらず（プラネタリウム）、残念です。

資料が立派でびっくりです。詳細の解説もありがたいです。

今後とも平塚市博物館の御活躍を祈ります。

いつもながら立派なパンフですね。でも撮影禁止はいただけない。すべてパンフに載っているわけではないし、拡大して撮りたい資料もある。個人利用に限り可とするのが世の流れでは！見学ルートが感覚的に不自然な感じ。ルート表示はきめ細かくしてくれてますが…

考古学の奥深さにふれた

市内でまた開催してほしい

神奈川県にも縄文時代からの歴史があることが良く分かりました。

貴重な資料を展示していただきありがとうございました。

県内の様々な資料がみられて面白かったです。今後もかながわの遺跡展をつづけてください。

今回の特別展は中々でした。「三角縁神獣鏡」は複製品であることが残念。東博からの借用はむずかしかったのでしょうか。

見る順番が少し分かりにくかったです。身近な場所から出土した資料を見ることができて興味深かったです。子ども（小学生）と来ましたが、子供には言葉が難しかったようです。

平塚市街の資料も活用した展示で大変興味深かったです。今後も周辺地域と連携した企画展を楽しみにしています。

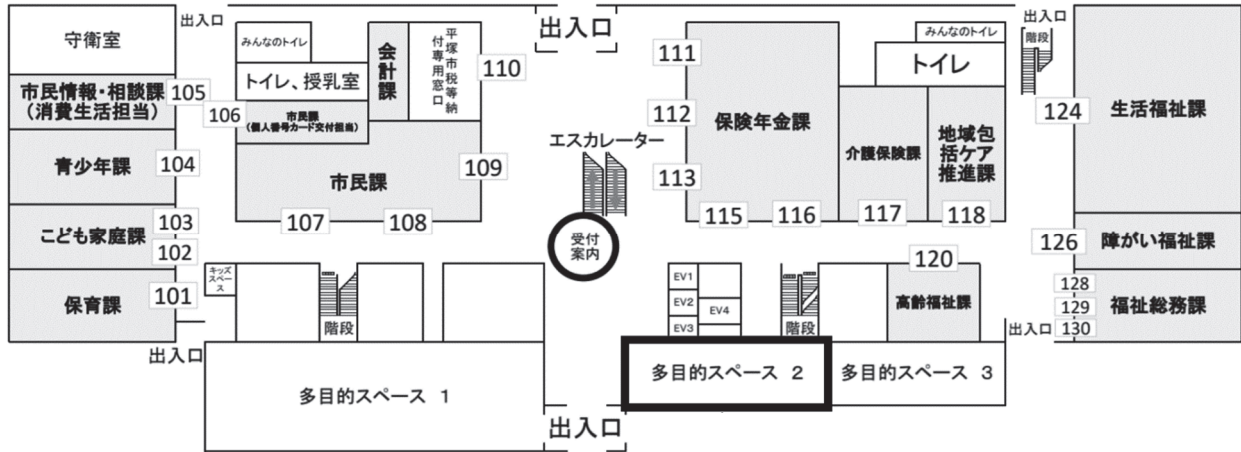
とても勉強になりました。又来たいと思いました。手焙り土器、やはり寒さはこたえたのだと思いました。注口土器に似た出べそ程度の注ぎ口なのか定量測定器なのか…と興味深々でした。ありがとうございました。

とても面白そうな企画なので見に来ました。図録も頂くことができとても良かったです。

受付から左に曲がっての左ガラスケース中は、順序が逆の方が見やすい気がしました。

平塚市博物館 平成30年度 ポスター展示「市民とつくる博物館」 開催報告

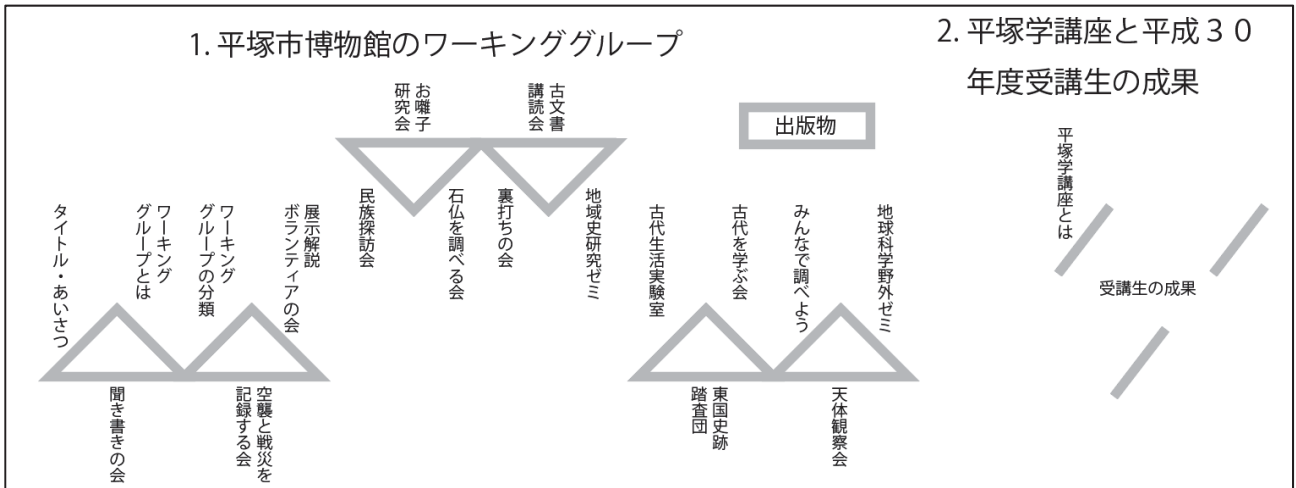
- 1 会期 : 平成31年2月8日(金)・12日(火)～14日(木)
- 2 時間 : 9時～17時
- 3 会場 : 平塚市役所 本館1階 多目的スペース2



- 4 主旨 : 博物館の活動の中でも、特に深く市民と深く関わりながら行っている14のワーキンググループの活動内容と、平成30年度平塚学講座受講者の活動成果を、主にポスターで紹介した。
- 5 展示構成
 - ◇ 展示構成
 - 1 : 平塚市博物館のワーキンググループ
 - 2 : 平塚学講座と平成30年度受講生の成果
 - ◇ 展示資料

ポスター 25点、ワーキンググループの活動成果に基づく博物館出版物 3点
- 6 配布物
 - 1 : ワーキンググループ募集チラシ A4判 両面刷 白黒
配布数 : 24部
 - 2 : あなたと博物館 A3判 両面刷 白黒
配布数 : 21部

7 展示レイアウト



8 展示会場の様子



平成31年度 社会教育部予算構成

	(単位:千円) 平成30年度当初	(単位:千円) 平成31年度当初	(単位:千円) 前年度比
一般会計当初予算 合計	81,000,000	80,780,000	-220,000
教育委員会予算(教育費) 合計	6,614,656	6,799,350	184,694
社会教育部(職員給与費除く) 計	1,185,695	1,118,694	-67,001
<hr/>			
社会教育費(職員給与費除く)	1,041,236	970,947	-70,289
社会教育課・・・社会教育総務費	74,635	50,076	-24,559
中央公民館・・・公民館費	482,427	477,527	-4,900
中央図書館・・・図書館費	228,955	189,742	-39,213
博物館・・・博物館費	73,705	76,550	2,845
・・・市史編さん費	5,382	5,063	-319
美術館・・・美術館費	176,132	171,989	-4,143
<hr/>			
保健体育費(職員給与費除く)	144,459	147,747	3,288
スポーツ課・・・保健体育総務費	49,343	44,135	-5,208
・・・体育施設費	95,116	103,612	8,496

各事業の概要と予算

事業名	事業概要	予算 (単位:千円)
1 博物館特別展事業	学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。31年度は全分野（平塚学入門）、天文・地質分野（賢治が愛した自然）、天文分野（空の科学）の特別展（タイトルは仮称）と、博物館文化祭を実施します。	5,489
2 博物館教育普及活動推進事業	市民の生涯学習に役立てるため、体験学習、各種の講座、野外教育活動等を実施します。 プラネタリウムは投影機器の一部と音響機器を更新します。	28,683
3 博物館協議会事業	博物館の運営全般にわたる諮問及び協議を行うため、博物館協議会を開催します。	170
4 博物館管理事業	博物館の安全かつ快適な施設環境を保持するため、施設の適切な維持管理を行います。 31年度は空調自動制御機器修繕を行います。	40,366
5 博物館情報システム事業	市民に地域への関心を深めてもらうため、博物館が集めた平塚及び相模川流域に関する情報を広くインターネットで発信します。	1,842
6 市史編さん事業	本市の歴史的発展過程を振り返り、郷土に対する市民の関心を高めるため、平塚市史を編さんします。 31年度は平塚市史「別編寺社(2)」の編集作業を継続して行います。	5,063
総計		81,613

博物館特別展事業				
費目	主な支出内容	30予算	31予算	前年度差
報償費	展示協力者・資料提供者謝礼	483	507	24
旅費	調査・資料収集出張旅費	36	54	18
消耗品費	特別展示用消耗品	500	640	140
印刷製本費	図録等印刷代	3,990	3,372	-618
通信運搬費	資料等運搬費	44	88	44
委託料	特別展用看板・パネル等製作委託料	680	780	100
原材料費	展示等作成用原材料	37	48	11
事業費計		5,770	5,489	-281
博物館教育普及活動推進事業				
費目	主な支出内容	30予算	31予算	前年度差
報償費	展示協力者・資料提供者謝礼	2,151	2,361	210
旅費	調査・資料収集出張旅費	231	247	16
消耗品費	調査研究・展示・プラネ・OA機器消耗品等	839	1,049	210
〃	温湿度記録計(29・30)	100	100	0
〃	天体望遠鏡関連消耗品購入費(30・指定寄付金分)	50		-50
印刷製本費	ポスター・出版物、写真D P等	1,736	1,924	188
物品修繕料	展示機器・プラネタリウム機器等修繕料	1,926	2,310	384
通信運搬費	寄贈資料等運搬費	22	44	22
手数料	クラウドファンディング決済手数料(30)	11		-11
委託料	資料等保存処理委託等(D 5 2・ホルマリン・剥製)	250	250	0
〃	クラウドファンディング事務委託(30)	108		-108
賃借料	プラネタリウム設備、OA機器リース料等	10,096	18,726	8,630
〃	施設使用料	50	50	0
〃	プラネ機器再リース&番組使用料(29・30)	3,933		-3,933
原材料費	展示等作成用原材料	35	36	1
備品購入費	研究活動用機材等	300	300	0
〃	天体望遠鏡購入費(30・クラウドファンディング対象)	1,924		-1,924
〃	標本乾燥機、架台購入費(30・指定寄付金分)	100		-100
〃	プラネタリウム投影機器買取(31年度)		1,141	1,141
負担金	博物館協会等年会費等	88	88	0
〃	I COM京都大会参加登録料(31年度)		56	56
事業費計		23,950	28,682	4,732
博物館協議会事業				
費目	主な支出内容	30予算	31予算	前年度差
報償費	博物館協議会委員報酬	170	170	0
事業費計		170	170	0
博物館管理事業				
費目	主な支出内容	30予算	31予算	前年度差
賃金	日々雇用職員賃金	661	680	19
消耗品費	管理用事務用品等	300	324	24
〃	ガス漏れ警報器更新(30)	59		-59
光熱水費	電気・ガス・水道代	8,107	7,854	-253
〃	駐車場有料化に伴う電気代	300	39	-261
〃	変電室内主遮断器修繕(流用施設修繕料へ)	-832		
物品修繕料	備品等修繕料	250	350	100
施設修繕料	設備等緊急支出用修繕料	1,500	1,500	0
〃	3F展示室空調機修繕料(30)	1,148		-1,148
〃	階段室修繕(予備費充用)	(7,560)		
〃	変電室内主遮断器修繕(流用光熱水費から)	832		
〃	空調自動制御機器修繕(3月補正)	7,020		-7,020
通信運搬費	電話・FAX代等	414	428	14
手数料	各種設備法定検査費用(水質・煤煙)	60	61	1
保険料	建物総合損害共済分担金	50	52	2
委託料	施設管理委託料等	28,077	27,868	-209
〃	OA機器保守委託料(コピー紙)	62	56	-6
賃借料	施設リース料(城島プレハブ)	756	759	3
〃	OA機器リース料(リソグラフ)	65	66	1
〃	C A T V利用料・トイレ脱臭剤等	315	321	6
負担金	甲種防火管理者講習受講料		8	8
事業費計		49,144	40,366	-8,778
博物館情報システム事業				
費目	主な支出内容	30予算	31予算	前年度差
報償費	情報機器入力作業協力者謝礼	252	252	0
消耗品費	WEBシステム用消耗品	35	35	0
委託料	レンタルサーバ運用費(30費目変更)	119	120	1
賃借料	WEB関連機器リース料	1,435	1,435	0
事業費計		1,841	1,842	1
市史編さん事業				
費目	主な支出内容	30予算	31予算	前年度差
賃金	臨時職員賃金	1,734	1,785	51
報償費	執筆協力者・資料整理協力者謝礼等	3,115	2,929	-186
消耗品費	事務用品等	157	156	-1
印刷製本費	資料等印刷代	100	100	0
通信運搬費	図書館施設電話代	52	53	1
〃	市史新刊郵送料	184		-184
委託料	OA機器保守委託料(コピー紙)	30	30	0
負担金	県歴史資料取扱機関連絡協議会年会費	10	10	0
事業費計		5,382	5,063	-319
※ 博物館管理事業繰越明許				
費目	繰越内容	(単位:千円)		
施設修繕料	空調自動制御機器修繕	繰越金額		
		7,020		

平成31年度
2019

平塚市博物館 普及事業予定概要

平成31年(2019)3月現在

展 示

夏期特別展は「平塚学」と名付けて人文・自然双方の視点から「平塚とはどのような場所なのか」を問いかけます。冬期特別展では天文や岩石・鉱物に造詣が深かった宮沢賢治の世界を紹介します。春期特別展は様々な表情を見せる空や雲を科学の目で解説します。「博物館文化祭」では、博物館で活動する教育普及行事ワーキンググループの成果を発表します。

1階寄贈品コーナーでは概ね月替わりで各分野の企画展を開催します。2階情報コーナーではポスト特別展やミニ文化祭を開催します。

特別展	春期特別展 「民具の物語」	2019	3月 21日	～	5月 6日
	夏期特別展 「平塚学入門(仮称)」		7月	～	9月
	冬期特別展 「賢治が愛した自然(仮称)」		11月 2日	～	1月 5日
	博物館文化祭－展示・発表・実演－(詳細は実行委員会で決定)	2020	1月	～	2月
	春期特別展 「空の科学 ～光と水の芸術を読む(仮称)」		3月	～	5月

寄贈品 コーナー	全分野 「平成を振り返る」	2019	4月 11日	～	5月 8日
	人文 「新着資料展1 人文」		5月 11日	～	6月 2日
	天文 「宇宙と元素」		6月 15日	～	7月 10日
	歴史 「平塚の空襲」		7月 13日	～	8月 18日
	考古 「平塚の埋蔵文化財」		8月 22日	～	9月 29日
	生物 「新しい神奈川県植物誌」		10月 3日	～	10月 29日
	民俗 「組紐」		11月 1日	～	11月 27日
	自然 「新着資料展2 自然」		11月 30日	～	12月 26日
	地質 「テーマ未定」	2020	1月 4日	～	2月 5日
	民俗 「雛人形」		2月 8日	～	3月 4日
	考古 「テーマ未定」		3月 7日	～	4月 5日

プラネタリウム

天文のテーマと季節毎の星空の話題でお送りする一般投影を7番組と幼稚園を対象とした幼児投影を行います。また、学校を対象とした学習投影を水・木・金曜日午前に予約制で行なっています。

一般投影	一般向け投影 「サザンクロスへの旅」	2019	4月 6日	～	6月 2日
	幼児向け投影 「すいせいゴエモンの冒険」(親子ほしぞらタイムを実施)		5月 11日	～	7月 13日
	一般向け投影 「太陽と星の動き」		6月 15日	～	7月 14日
	一般向け投影 「アポロ50年～宇宙開発の現場で語られた名(迷)言たち～」		7月 20日	～	9月 1日
	投影機器更新のため投影を休止		9月	～	10月
	一般向け投影 「銀河鉄道の夜」				
	一般向け投影 「賢治が見つめた星空」				
	一般向け投影 「2020年の天文現象」	2020			
	一般向け投影 「ゆりかごから墓場まで～星の一生をめぐる」				
季節投影	「いつもの星空」「星空音楽館」				
特別投影	「星空とともに」「星空散歩」「星空の古代史」				

各種普及行事

この他にも様々な行事があります。詳しくは「広報ひらつか」や博物館ホームページ(<http://www.hirahaku.jp>)をご覧ください。

自由参加 行事	歴史	平塚郷土史入門講座(3回)	2020	1月	～ 3日
	考古	考古学入門講座(3回)	2019	10月	～ 12日
	天文	星を見る会／天文学入門講座／不思議な板で万華鏡を作ろう／星空散歩／最新天文学講座			
	全分野	こどもフェスタ 2019	2019	5月	6日
		イブニング・ミュージアム・ウィーク[夏] イブニング・ミュージアム・ウィーク[秋]			
申込制 行事	考古	体験学習「縄文人になろう」	2019	7月	
	民俗	石仏見学会	2019	10月	
		体験学習「お飾りをつくろう」	2019	12月	
	地質	体験学習「河原の石ころ図鑑を作ろう」	2019	7月	～ 8月
		野外観察入門講座「相模川ジオツアー入門」(4回)		4月	～ 1月
	生物	みんなで調べよう「カタツムリ」	2019	6月	～ 7月
		夕方の鳥を見よう	2019	7月	～ 8月
		キノコの観察会	2019	10月	
		自然教室(6回)		4月	～ 3月
	天文	体験学習「望遠鏡を作ろう」(2回)	2019	7月	8月
プラネ	雑貨団シアトリカル・プラネタリウム／プラネタリウムコンサート				
会員制 行事	歴史	古文書講読会／地域史研究ゼミ／平塚の空襲と戦災を記録する会／裏打ちの会			
	民俗	お囃子研究会／石仏を調べる会／民俗探訪会／聞き書きの会			
	考古	古代生活実験室／東国史跡踏査団／平塚の古代を学ぶ会			
	地質	地球科学野外ゼミ			
	生物	身近な生き物勉強会			
	天文	天体観察会			
	展示	展示解説ボランティアの会			

その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2019	6月	4日	～	6月	14日
博物館実習	2019	9月	3日	～	9月	12日

*都合により内容・日時が断りなく変更される場合がありますので、「あなたと博物館」「広報ひらつか」等でご確認下さい。